

1 事業概要

		課名	観光課	事業No.	216	
		会計	一般会計			
事務事業名		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始	H19	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画		2	飯田市への人の流れをつくる		
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす		
	分野別計画		飯田市観光振興ビジョン			
			地域経済活性化プログラム			
		名勝天龍峡整備計画、名勝天龍峡保存管理計画				
法令・例規等						
事業目的	対象	天龍峡の観光客				
	意図	地域交流人口の増加				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	「天龍峡再生プログラム」に位置付けられた事業を実施し、天龍峡の再生・活性化を図りました。		龍東道整備工事実施設計業務				4,698	
	「名勝天龍峡整備計画」による事業を実施し「名勝天龍峡」の適切な保存管理と活用を図りました。		天龍峡観光案内業務等委託費				6,318	
	1. 名勝天龍峡整備事業の実施		天龍峡まちづくり支援事業等負担金				2,030	
	2. 天龍峡観光案内所運営及びご案内人の育成		土地借地料等				2,582	
	3. 地元関係団体の活動支援や観光情報の発信、誘客事業の実施		景観整備等業務委託料				3,167	
	4. 名勝天龍峡ガイダンス施設、龍東道遊歩道実施設計		委員会等報酬等				57	
			名勝天龍峡ガイダンス施設実施設計業務				4,903	
			その他の経費				2,728	
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度
天龍峡及び天竜川下り舟の観光客数		人	275,000	325,500	310,900			
天龍峡をご案内人が案内した人数		人	6,443	5,528	4,519			
30年度 決算 (千円)	予算額	27,325	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	26,483	(国) 国宝重要文化財等保存整備補助金 (5/10)					
	財源の 状況	国庫支出金	1,081	(地) 合併特例 (充当率95%)				
		県支出金	0	(そ) ふるさと寄附金 3,368千円				
		地方債	9,100	(そ) 諸収入 256千円				
		その他	3,624	30→1 繰越明許費 500千円				
一般財源	12,678							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	14	6	20,192	19,415	天龍峡活性化事業費
2	1	7	1	4	14	7	7,133	7,068	名勝天龍峡整備事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・天龍峡再生プログラムによるおもてなしや、ご案内人による遊歩道散策が一定の成果を上げ、天龍峡を訪れる観光客数の増加につながっています。これまで整備を進めてきた既存遊歩道・園路の改修がおおむね終わり、天龍峡温泉交流館も建替が終了しオープンしました。今後、開通が予定される(仮称)天龍峡大橋を新たな天龍峡の魅力とし連携させ、観光客数の増加につなげます。							
上記の課題解決のための有効策		・遊歩道整備とガイダンス施設整備は国(文化庁)等の連携を図り事業を進める必要があります。天龍峡IC休憩施設は国(国土交通省)等の連携が必要であります。また(仮称)天龍峡大橋開通に伴うおもてなし戦略については市内部や地域団体との協働により、宣伝誘客事業を進める必要があります。							
次年度に向けての取り組み		・各事業について関係機関・団体との協議を進め、(仮称)天龍峡大橋開通時には、誘客とおもてなし事業が円滑にできるような事業を進めていきます。							